

台風 14 号と前線豪雨に対する対応（第 6 報）〔最終報〕

平成 17 年 9 月 20 日

11 : 45 現在

国土地理院
災害対策会議事務局

1. 台風の状況（気象庁情報）

1) 概要

8 月 29 日 21 時にマリアナ諸島付近の近海で発生した台風第 14 号は、西に進みながら大型で非常に強い勢力に発達し、その後日本の南海上を北北西に進んだ。

9 月 4 日には、南大東地方や奄美地方が風速 25メートル以上の暴風域に入り、その後進路を次第に北よりに変え、広い暴風域を維持したまま九州地方の西岸に沿って北上した。

6 日 14 時過ぎに長崎県諫早市付近に上陸した後、台風は九州地方北部を通過し、6 日夜には山陰沖に抜け、速度を速めながら日本海を北東に進んだ。7 日夜には北海道の渡島支庁せたな町に再上陸した後、北海道の北部を通過し、8 日朝にオホーツク海に抜けた。

この台風の特徴等は次のとおり。

広い暴風域を維持したまま、ゆっくりとした速度で進んだ。

長時間にわたって暴風、高波、大雨の状態が続いた。

九州と四国地方の各地で降り始めからの雨量が 9 月の月間平均雨量の 2 倍を超える記録的な大雨となった。特に、宮崎県南郷村神門では 1321 ミリとなった。

一年を通して最も潮位の高い時期であったため、九州地方や瀬戸内海沿岸で高潮となった。

2. 国土地理院の対応

1) 災害対策会議

9 月 5 日（月）10 時 40 分 警戒態勢

9 月 6 日（火）12 時 00 分 「台風 14 号と前線豪雨に対する対応」災害対策会議（委員長：企画部長）を設置。

13 時 00 分 第 1 回災害対策会議を開催。

9 月 7 日（水）10 時 00 分 第 2 回災害対策会議を開催。

9 月 8 日（木）9 時 30 分 第 3 回災害対策会議を開催。

9 月 9 日（金）11 時 00 分 第 4 回災害対策会議を開催。

9 月 20 日（火）11 時 15 分 第 5 回災害対策会議を開催。

11 時 45 分 災害対策本部会議を閉鎖。

2) 現地との連絡等

現地との連絡を確保し情報を収集。

3) 空中写真の撮影

9月 9日(金)に被災地域の空中写真撮影を実施。

9月12日(金)に被災地域の空中写真撮影を実施。

4) ホームページによる情報提供

9月 6日(火) 国土地理院ホームページに「台風14号と前線豪雨関連ページ」を開設。

・電子基準点停止状況をホームページに掲載。

・「台風14号と前線豪雨」の被害状況分布図(速報)をホームページに掲載。

9月10日(土) 平成17年台風第14号による被災地の空中写真及び正射写真図をホームページに掲載。

9月15日(木) 電子国土に平成17年台風第14号による災害状況図を掲載。

5) 地理情報等の提供

9月 7日(水) 国土交通省九州地方整備局に地形図及び地図データを提供。

9月10日(土) 国土交通省九州地方整備局、大分県他に空中写真を提供。

9月13日(火) 国土交通省九州地方整備局、中国地方整備局、宮崎県他に空中写真(追加撮影分)を提供。

9月15日(木) 国土交通省九州地方整備局、中国地方整備局、宮崎県他に正射写真図、地形図を提供。

6) 現地調査の実施

9月 8日(木) 東京都善福寺川、妙正寺川(中野区、杉並区)氾濫状況現地調査実施。

7) 記者発表等

9月10日(土) 17時00分「平成17年台風第14号による被災地の空中写真を公表)」を発表。

9月13日(火) 平成17年台風14号による被災地空中写真(追加撮影)を公表

8) 会議等への出席

9月 6日(火) 16時00分から開催の「第1回台風14号に関する災害対策」関係省庁連絡会議に企画部長が出席。

9月 8日(木) 14時00分から開催の「第2回台風14号に関する災害対策」関係省庁連絡会議に企画部長が出席。

9月 9日(木) 台風14号による災害に係る宮崎県への政府調査団に地理調査部長が参加。